

第1回アジア・太平洋水サミットの結果について（概要）

平成19年12月6日

水資源計画課

1. 12月3日～4日、大分県別府市にて、第1回アジア・太平洋水サミットが開催された。
2日間にわたり、「水の安全保障：リーダーシップと責任」という全体テーマのもと、「水のインフラと人材育成」「水関連災害管理」「発展と生態系のための水」の3つの優先テーマを中心に、計10のセッションが開催され、熱心な議論が行われた。
2. この水サミットは、水の問題をテーマとして、首脳級が議論する初めての国際会議で、主催者は、アジア・太平洋水フォーラム（NPO。会長は森喜朗元総理）／第1回アジア・太平洋水サミット運営委員会。
3. アジア・太平洋地域の36の国・地域（我が国を含む）が参加し、福田総理大臣を含む10の国・地域より首脳級が、約20ヶ国より閣僚級が、またユネスコやアジア開発銀行などの関係国際機関代表、国連「水と衛生に関する諮問委員会」議長のオランダ国皇太子殿下も参加し、全体規模で約300人の参加があった。
このサミットには、日本政府側も開催に当たって必要な支援を行った。
4. 12月3日の開会式では、本年11月1日に国連「水と衛生に関する諮問委員会」名誉総裁にご就任された皇太子殿下もご出席され、お言葉を述べられた他記念講演が行われた。
また、福田総理大臣が日本政府を代表して歓迎の挨拶を行い、この水サミットでの活発な議論が、来年の北海道洞爺湖サミットにきわめて大きな力と知恵を与えてくれるものと期待している旨述べた。
5. 国土交通省からは、
冬柴鐵三国土交通大臣が4日にパネリストとして議論に参加するとともに、閉会式で日本政府代表としての挨拶を行った。

山本順三国土交通大臣政務官が、両日に出席し、基調講演及び挨拶を行った。

6. 12月4日の閉会式では、2日間に渡る議論をとりまとめた「議長総括」とともに、この地域の水問題の解決に向けて各国政府の努力を促す「別府からのメッセージ」（別紙）が発表された。

「別府からのメッセージ」では、水サミット参加者が、水の問題の重要性を改めて確認した上で、アジア・太平洋地域各国政府への提言として、

- ・水と衛生をアジア・太平洋地域の各国の経済・開発、政治課題における最優先課題とし支援を拡充すること
- ・北海道洞爺湖サミットに向けての具体的な目標として、
 - －国連ミレニアム開発目標の1つの水と衛生に関する目標を達成できるように支援を行うこと
 - －途上国による気候変動への適応を支援するため直ちに行動を起こすことを設定すること

などについて共通の見解に達した旨が記された。

7. 「2008年国際衛生年」のアジア・太平洋地域での発足式がこの水サミットで行われたこと、気候変動のリスクを軽減するための「適応策」について本格的に首脳間で議論されたこと、「水」に関して厳しい状況にあるアジア・太平洋地域において（注）、首脳級が集まって水問題の解決が最優先の課題であるとの共通の認識を再確認したことなど、本サミットの意義は大きい。

（注）安全な飲料水、衛生施設にアクセスできない人口（約7億）が世界の中で最も多い地域。世界の水災害（洪水、暴風雨等）の死者の80%以上が集中。

（了）

別府からのメッセージ（仮訳）

我々アジア・太平洋地域のリーダーは、各国のあらゆる分野を代表し、温かいもてなしのもと、日本国大分県の美しい都市、別府において開催された記念すべき第1回アジア・太平洋水サミットに結集し、次のような合意に達した。

- 人々が安全な飲料水と基本的衛生設備を入手することは、基本的人権であり、人間の安全保障の基本であることを確認する。
- この地域において安全な飲料水を利用できない人々の数を、2015年までに半減し、2025年までにゼロを目指す。
- 現在ほど水を必要としない新しい、革新的な衛生システムを採用し、基本的衛生設備の利用できない人々の数を、2015年までに半減し、2025年までにゼロを目指す。
- 水と衛生を各国の経済・開発計画や政治課題における最優先課題とし、水と衛生分野への資金配分を大幅に拡充する。
- 特に貧困層に大きな影響を及ぼすゆえに、水管理に関するすべての面で、ガバナンス、効率性、透明性、公平性を向上させる。女性は社会的弱者である一方、粘り強い活力を有し、進取的である。従って、すべての水関連活動において、女性の能力を向上させなければならない。
- 洪水、干ばつ、その他水関連災害の発生を防止、削減し、犠牲者を適時に救援、支援できるように、早急に効果的な行動をとる。
- 気候変動の影響を受けやすい島嶼国における、生命・財産を守る取り組みを早急に支援する。

- ヒマラヤ山脈地域における冠雪・氷河の融解や、海面上昇等、地域の一部の国ではすでに気候変動の影響が現れている。水と気候変動の関係を議題に組み入れるよう、バリ会議に提言する。
- 2008年に開催されるG8北海道洞爺湖サミットに向けて、具体的な目標を設定する。
 - 発展途上国がMDGsの水と衛生に関する目標を達成できるよう、支援を行う。
 - 発展途上国による、気候変動への適応を支援するために、直ちに行動を起こす。
- 各国は、閣内にあるハイレベルの調整システムの権限を拡大する。可能な国では水担当大臣を任命し、水と衛生に関するすべての問題を統合的に扱う。
- 都市の水路網を修復し、及び農村地域の環境の健全性を保全するなど、この地域の水に育まれた社会の豊かな歴史を尊重する。
- 水の安全が保障されたアジア・太平洋地域という地域全体のビジョンを達成するために、志を一つにするすべての団体、個人が力を合わせて取り組む。

我々は、アジア・太平洋水フォーラムの仲間が作成したポリシーブリーフを支持する。

我々は、この提言の実施に向け、各国政府の努力を促す。

我々には、このビジョンを実現する意志と勇気がある。

Message From Beppu

We, the leaders of the Asia-Pacific, coming from all sectors of our societies and countries, meeting at the historic inaugural Asia Pacific Water Summit, in the beautiful city of Beppu, in the hospitable Oita Prefecture of Japan, do hereby agree to:

- Recognise the people's right to safe drinking water and basic sanitation as a basic human right and a fundamental aspect of human security;
- Reduce by half the number of people who do not have access to safe drinking water by 2015 and aim to reduce that number to zero by 2025;
- Reduce by half number of people who do not have access to basic sanitation in our region by 2015 and aim to reduce that number to zero by 2025, through the adoption of new and innovative sanitation systems that are not as water reliant as current methods;
- Accord the highest priority to water and sanitation in our economic and development plans and agendas and to increase substantially our allocation of resources to the water and sanitation sectors,
- Improve governance, efficiency, transparency and equity in all aspects related to the management of water, particularly as it impacts on poor communities. We recognise that while women are particularly vulnerable, they are also resilient and entrepreneurial, hence, should be empowered in all water-related activities.
- Take urgent and effective action to prevent and reduce the risks of flood, drought and other water-related disasters and to bring timely relief and assistance to their victims;
- Support the region's vulnerable small island states in their efforts to protect lives and livelihoods from the impacts of climate change;

- Exhort the Bali Conference to take into account the relationship between water and climate change, such as the melting of snowcaps and glaciers in the Himalayas and rising sea levels, which are already having an impact on some countries in the region;
- Establish concrete goals for the 2008 Toyako G8 Summit to:
 - commit to support the developing countries to achieve their MDG targets on water and sanitation; and
 - take immediate action to support adaptation to climate change by developing countries;
- Empower a high-level coordinating mechanism in our cabinets and where possible, appoint a minister in charge of water to ensure that all issues related to water and sanitation would be dealt with in a holistic manner;
- Respect and strengthen the region's rich history of water-centered community development, including the rehabilitation of urban waterways and protecting the environmental integrity of rural watersheds; and
- Work together with other like-minded institutions, entities and individuals in order to achieve our collective vision of water security in the Asia Pacific region.

We will support the Policy Brief as prepared by the Asia Pacific Water Forum family.

We encourage all governments to make all efforts to implement its recommendations.

We have the will and courage to realise our vision.